

— 妄想と制度をめぐって

王

2013/10/14 (月・祝) 13:30 — 16:00

様

続

●

裸

【会場】東京藝術大学音楽学部5号館5-109
聴講無料(事前申し込み不要)

【出席者】司会 神野 真吾(千葉大学)
登壇者 橋本 聡 × 栗田 大輔(comos-tv)
豊嶋 康子 × 神山 亮子(府中市美術館)

アンデルセンの寓話「裸の王様」には「王様」「大臣」「仕立て屋(いかさま師)」「子供(王様は裸だ!と叫ぶ)」「群衆」などが登場しますが、この童話には共同幻想的な振る舞いや制度、体裁に対する各々の態度が示唆されています。一方で1960年代後半より展開された「コンセプチュアル・アート」は、狭い意味での制度ではなく、あらゆる概念や認識に関わる根底的な問いを孕んでいましたが、時に「裸の王様」のような美術と指摘された中で「制度批判にすぎない」「観念的だ」など制度に準ずるかたちで受容されてしまっている側面が見られます。「制度」による保証/システムがなければ「妄想」を見ることができない。われわれが生きる現在において「裸の王様」なるもの(事態)はどこに遍在しているのでしょうか。コンセプチュアル・アートの特性を有する実践をなしている橋本聡、豊嶋康子のふたりを交えて、今日に敷衍される「裸の王様」の問題圏について議論します。

の

【主催】東京藝術大学美学研究室第64回美学会全国大会実行委員会 美学・藝術論研究会